

に「に」通信

第百号

平成十五年九月二十日

〒九三三〇八〇四 高岡市問屋町四十

有限会社 沖商店

TEL 0766-251-550

FAX 0766-251-5500

E-mail okshoten@poem.ocn.ne.jp

いつもお世話になりありがとうございます。

『人は何の為にこの世の中へ生まれて来たのでしょうか』『人生の本来の目的は何なのでしょう』『そんな人生の根本問題を皆様と一緒に考えたいと思ひ、皆様の心に一石を投じて、意見を頂く機会になることを願って本通信をお届けしている次第です。どうか忌憚の無いご意見をお寄せくださいます様お願い申し上げます。』

一 上忍・中忍・下忍

私が学生時代(四十年前程前)、『山田風太郎』と云うなかなかユニークな小説家がありました。発想が豊かで、今日で言うSF・アニメ調のタッチで、特に忍者ものが得意でした。彼が考え出す忍者は、とてもユニークな特技を持っています。今、私が覚えているものをいくつか紹介します。

忍者その一、痰を10メートル余も飛ばして確実に命中させることが出来るのです。 その痰はチューインガム状の強力接着剤の様なもので、これを鼻なり目なりに命中された相手は、それを手で取り除こうとする、指にもくっ付き、ガムを延ばした様になるのです。次々と痰を飛ばし付けられた相手は、それを取り除こうともがくうちに、蜘蛛の巣に引掛った獲物の様に痰の糸に絡め取られるのです。

忍者その二、身体を薄い板状にすることができ、壁や天井に張り付いて相手の目をくらめます。

忍者その三、身体全体が軟体動物、たとえば蛸の様になっていて、もし、捕われて牢屋に入れられても、頭を牢の柵の隙間に押し付けると、その狭い隙間を透り、外側へ押し出されてそこで再生されます。そして肩・腕・胴・足と次々に外側へ押し出されて、身体全体が牢屋の外で元通り再生されるのです。したがって彼は脱獄は勿論、何処へでも忍び込めるのです。

忍者その四、一瞬にして自分の身体の表面を鋼の様

にでき、刀も槍も撥ね返す、名付けて『にくよろい』。忍者その五、身体全体が長い毛で覆われ保護されて、水や空気も通さない。そして時にはその毛が直

立し、針ねずみの様になって相手を抱き殺す。「養念鬼」を避けている人を一般的に「運転の上手な人」と言い、**忍者その六、**妖艶な容姿のくのいち(女)忍者で、男女の交わりを武器とする。性器そのものもそうであるが、皮膚の毛穴全体が吸盤になり、蛭の様に相手の血を全部吸い取る。吸い取られた相手はミイラになる。

忍者その七、腹の中に刃を隠し持ち、一瞬に吐き飛ばすことができ、油断して近づいた相手を仕留める。まだ色々ありましたが忘れました。

しかし、その三、その四、などは、映画で有名なアール・ルド・シュワルツネッカーが主演の『ターミネーター』の発想そのものではありませんか。

と、ここまででは前座でありまして、本番はこれからです。

彼は他の小説で、忍者には上忍・中忍・下忍とあるのだと言います。

下忍と言うのは、一般に『忍者』と言うと想い画か郎、猿飛佐助や霧隠才三のように、目的を達するたために身体を張って実行する者であり、優秀な忍者・強い忍者というのは、それに必要な技術・才覚の優れた者ということになります。

すなわち、身軽な者、剣術の勝れた者、辛抱強い者、情勢をすばやく判断し処することが上手な者、その他色々な特技を身につけて、命じられたことを密かに遂行するのですが、あくまでも目先の事柄に対しての働きであり単発的・極部的になります。

上忍と言うのは、始め何もないところから、あるいは、自分の都合の悪い状態から、自分が望む状態になるまで、無理なく、誰にも気付かれず、ごく自然に、もっていくことができる者です。勿論、時間はかかりませんが、緻密な計算の下、その時々で打つ手の巧妙さ、絶妙なタイミングの良さに、周りの者は、誰かが意図やつていたのですから、少しは進歩したのですが、自らが自分たちだけが行使する。それでは党員は集まりません。

せられていますがそれにも気付きません。時には下忍も用いますが、下忍本人は何の為に自分がそうするのか、目的を知らされていません。時には事件を起させ、時には或る者を病死させ(一票と金を出させる為だけだから、思うように党員集めも異なることは当然なこと、それが理解できないのは徐々に、そして必要とあれば急転直下に状態を変えて利は自分たちだけが行使する。それでは党員は集まりません。この様に『無為』の中に、ごく自然的に、自分の目的を達するのが上忍です。

中忍は、上忍と下忍の中間程度の者ということになります。

これを自動車の運転に例えようと、ハンドルを握り、ブレーキ操作など素晴らしい運転技術を駆使して事故

を避けている人を一般的に「運転の上手な人」と言います。しかしこれは下忍の優秀さです。そんな素晴らしい運転技術を持ちながら、危険箇所への予知能力に勝れているとか、事故に合わない道路も知れませんが)各自の思いに任ず」と云う方針を

選びが自然に身につけていて、その素晴らしい運転技術を取ったのかもしれない。私は大賛成です。

本々、国会議員は選挙民を代表し議会に参加し、自分のおきる原因を良く知り、高次元に立って事故を避けたい人、これが本当に「運転の上手な人」であり、現実には下忍にもなれません。

また、今の政治家は下忍ばかりで、上忍はおろか、中忍もいません。

二 自民党総裁選挙に思う

九月二十日に行われる自民党総裁選挙に、小泉純一郎、藤井孝男、亀井静香、高村正彦の四氏が立候補し、この選挙戦に関して、人のいろんなものの考え方、それにもとづいた言動が見受けられ、ここにもまた、人間の醜いエゴがむきだしにされています。

おかげさまで、人生のありかたを問う、本『にこの通信』のネタに事欠かない次第です。以前(本通信第四十一号・第五十四号)にも記しましたが、自民党総裁選挙の毎に思うのは、国会議員たちの傲慢さと程度の悪さです。

その中で、私の思いを二点記します。その一、選挙方法について

国会議員一票に対し党員一万票とはあまりにも党員でも、それまでは党員は関係なし、国会議員だけではよろしいと思ひます)それに向けて一緒に進めてきた者が『小泉支持』に廻ったため、その裏切りに憤懣を馬鹿にしていませんかと言いたいのです。

なぜ、一般党員に開放しないのか分かりませんが、平素は、党員を増やすのに躍起になっていますが、慢、人はそれぞれ考え方が異なりその時その時で言動

自民党総裁選挙は自民党員全員の公平な(格差のない)選挙制度で行うべきだと思います。ついでに申し上げますと内閣総理大臣も国民の直接選挙で選ぶべきです。

今回の自民党総裁選挙に対して、最大派閥の橋本派が実質分裂しています。分裂と言うより「今回は派閥が実質分裂して意見一本に纏められないで、纏められなかったの

本々、国会議員は選挙民を代表し議会に参加し、自分のおきる原因を良く知り、高次元に立って事故を避けたい人、これが本当に「運転の上手な人」であり、現実には下忍にもなれません。

また、今の政治家は下忍ばかりで、上忍はおろか、中忍もいません。

『徒党を組んで悪事をなす』と言いますが、今日の日本、派閥を解消し、国会議員ひとり一人の意見を重視して討議し、議員間の義理人情・借り貸し・金銭問題など一切なくして(個人としての義理人情は大いに宜しいと思ひますが公の場へまで持ち込まない)事の採決をはかるのが本来の『議会制民主主義』というのではな

徒党を組まねばできないと言ひのは、いかにも拙い。そんな議員は即刻辞めていただきたい。「そうすることですすよ」と言ひたいです。

その意味において、この度の野中広努氏の引退表明は、国会議員の模範となるべきものだと思ひます。但し、その理由・真意は違ひますが。

彼は、『小泉降ろし』が国民の為に必要だと思ひ(それはよろしいと思ひます)それに向けて一緒に進めてきた者が『小泉支持』に廻ったため、その裏切りに憤懣を馬鹿にしていませんかと言ひたいです。

自分の思い通りにならないことに腹を立てるのは驕慢か、と言ひざるを得ません。

私が、「彼は国会議員の模範となるべきものだ」と言ひるのは、理由・真意は違ひても、徒党を組まねばできない」と言ひたいです。

有限会社 沖商店 代表取締役 沖昌弘
個人メール E-mail okshoten@poem.ocn.ne.jp
(お問い合わせ) 電話 0766-251-5500